

令和2年度 第3回 射水市在宅医療・介護連携推進協議会議事録

- 1 開催日 令和3年2月19日(金) 午後1時30分～2時15分
- 2 開催場所 射水市役所 2階 201・202会議室
- 3 出席者
 - <委員> 島多会長、松浦副会長、矢野委員、北林委員、奥村委員、永野委員
毛利委員、竹内委員、森委員、阿部委員、中沖委員
 - <ワーキング部会長> 若杉部会長(在宅支援ワーキング部会)
 - <事務局> 小見福祉保健部長、久々江福祉保健部次長
介護保険課 黒田課長
保険年金課 明課長
地域福祉課 糸岡課長、政岡課長補佐、杉谷副主幹、作道係長、
城石主査、島崎主査、安元主任
- 4 欠席者 長谷委員
- 5 議題
 - (1) 各ワーキング部会の実施報告について
 - ア 在宅支援ワーキング部会

「在宅療養者の食支援について」「介護者支援について」(資料1)【若杉部会長説明】

 - ・病院では入院中に栄養士が食事指導をし、退院後は通院時に外来にてフォローしている。今後、病院の栄養士と在宅の支援をする栄養士が連携することは良いことである。
 - ・入院すると身体の様々な面で機能低下がみられる。入院中の栄養士による介入状況を在宅へつなげるために情報交換が必要である。地域の食支援について継続して行って欲しい。
 - ・資料1の別紙1について、要介護3～5の方の在宅者の口腔ケアや嚥下については訪問看護師が支援していることもあり、資料に「訪問看護師」について、追加記載をしてはどうか。また、新たな取り組みとして食支援に関する退院後の在宅への継続支援については、良い取り組みであると思う。医師としても協力できればと思う。
 - ・介護者支援アセスメント票の介護支援専門員への周知については、今回のアンケート依頼の際にアセスメント票と解説票を同封したことでできたと思っている。
 - ・実際にアセスメント票を使用して、介護者への情報提供の必要性や介護者同士の交流の場があれば良いと感じた。今後、アセスメント票について各事業所の介護支援専門員に広めていきたい。
 - イ 情報共有ワーキング部会

「多職種連携支援システムについて」「多職種連携研修会について」(資料2)

【中沖部会長説明】

 - ・ICTツールを利用することでヘルパーや訪問看護師以外に、後見人との連携も図る

ことができた。また、会話形式でやり取りができ、今まで知らなかったことも情報共有ができた。重症患者以外にも使用すると良いツールだと実感している。

- ・医療従事者の認識が高まることによって情報共有化が図れる。射水市民病院でも今後、在宅医療担当医を中心に利用をすすめていきたい。
- ・「人生会議の記録」は高岡医療圏で今年度作成され、3か年計画で広めていく予定でツールの使い方の研修会を動画で関係者に発信されている。射水市においても具体的な活用について検討していく。

ウ 普及啓発ワーキング部会

「在宅医療と介護を考える市民講座について」（資料3） 【松浦部会長説明】

- ・令和3年度の市民公開講座は、顔が見える形での開催を目指したいが、その時の状況を見て、委員の皆様にご相談させていただきながら決めていきたい。

令和2年度 第3回射水市在宅医療・介護連携推進協議会 次第

日 時 令和3年2月19日（金）

午後1時30分～2時30分

会 場 射水市役所2階201・202会議室

1 開 会

2 議 題

(1) 各ワーキング部会の実施報告について

ア 在宅支援ワーキング部会 (資料1)

- ・在宅療養者の食支援について
- ・介護者支援について

イ 情報共有ワーキング部会 (資料2)

- ・多職種連携支援システムについて
- ・多職種連携研修会について

ウ 普及啓発ワーキング部会

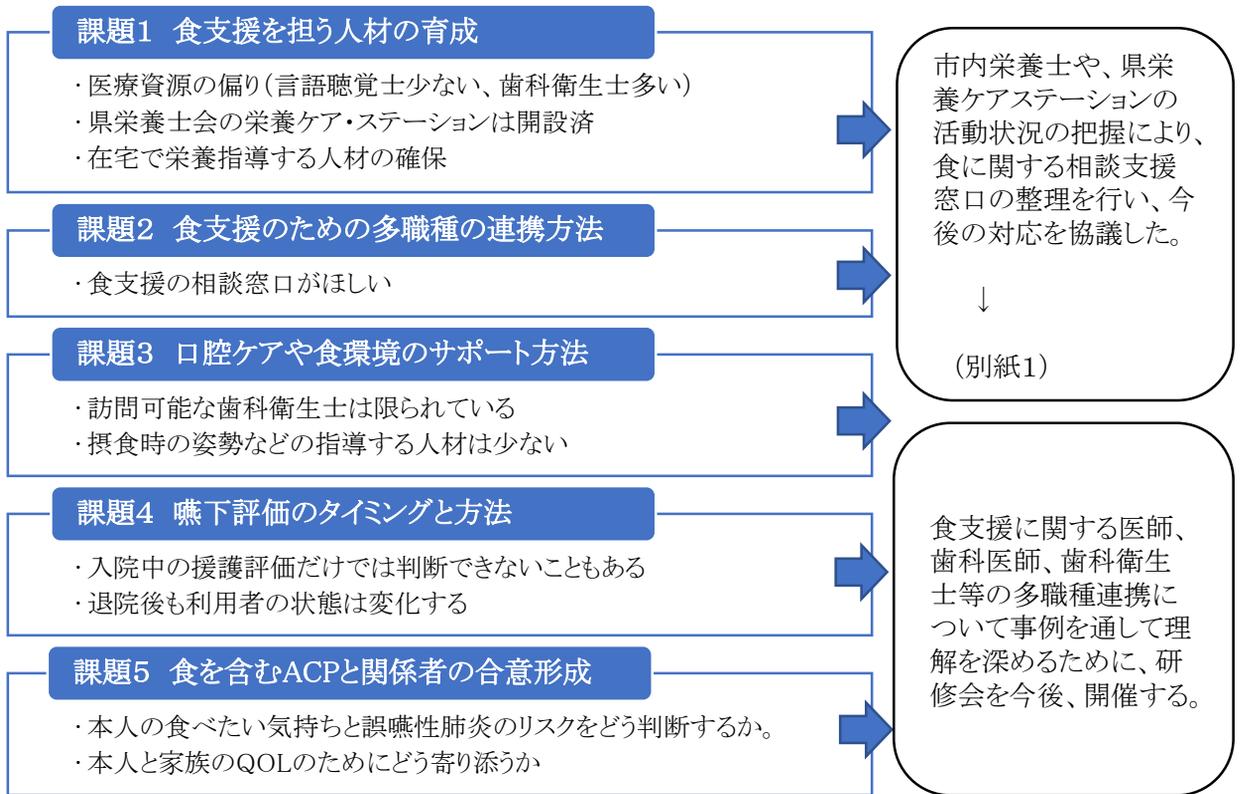
- ・在宅医療と介護を考える市民講座について (資料3)

(2) その他

3 閉 会

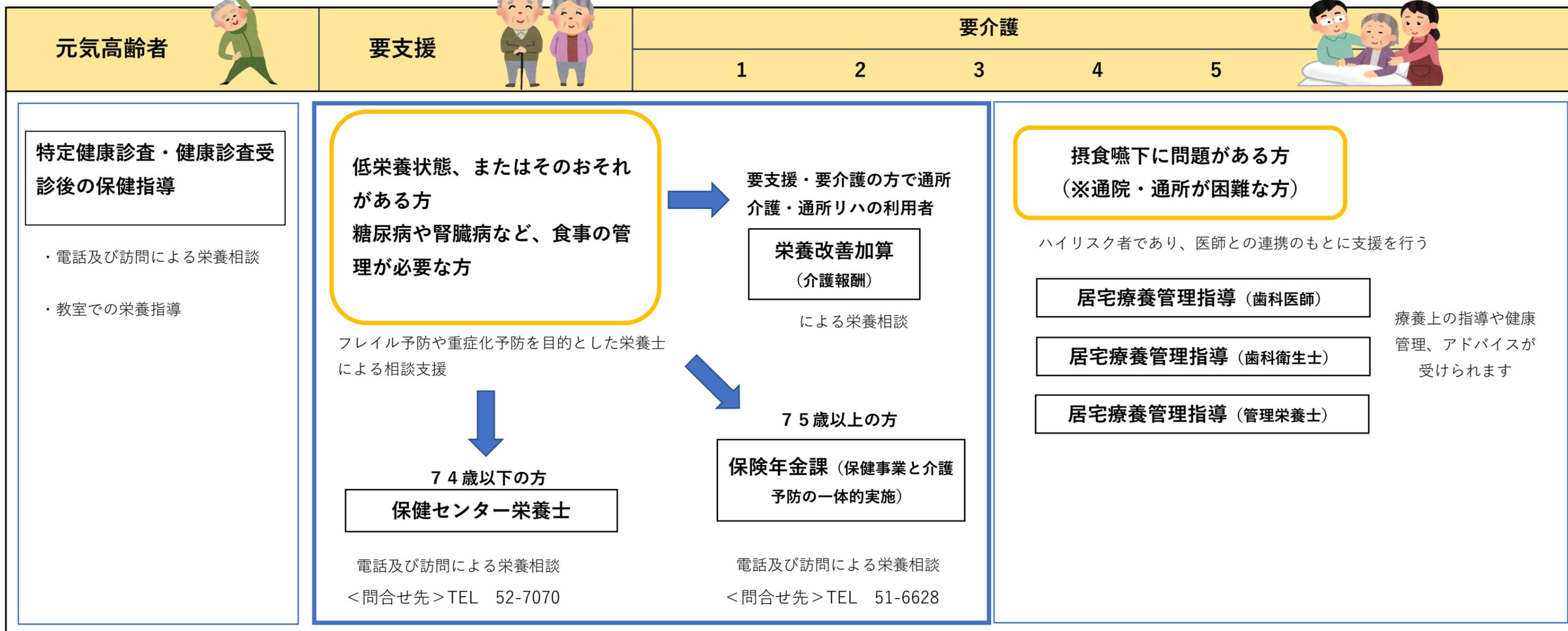
<参考資料1> 令和2年度ワーキング部会実施状況について

1. 在宅療養者の食支援について



2. 介護者支援について

- ・在宅介護者支援に関するアンケート結果 (別紙2)
- ・介護支援専門員への介護者支援の啓発を目的とした研修会 (別紙3)



新規の取組

入院等により身体状況に変化のある方／食生活支援が必要な方

入院中の栄養アセスメントを元に、退院後に集中的な支援を行う

<対象者> 射水市内の地域包括ケア病棟入院者で食生活支援が必要な方

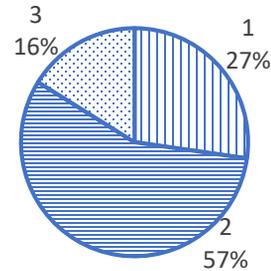
- <実施内容>
- ① 入院中の栄養アセスメント実施（病院管理栄養士）により対象者抽出
 - ② 退院後の支援を行う栄養士へ引継ぎ実施（入院中）
 - ③ 訪問支援（集中的に2～4回）
 - ④ ケアマネジャーへ訪問支援の結果報告

「在宅介護者支援に関するアンケート」回答結果

- ・アンケート実施期間：令和2年12月10日～12月28日
- ・アンケート回収率：個人；73.9%（99名/134名）
施設；72.0%（36施設/50施設）

問1. 介護者アセスメント票を利用したことがありますか。

1.ある	27名
2.ない	56名
3.知らなかった	16名



問1. で「ある」と回答した27名において

(1) 令和2年4月～11月のアセスメント票利用件数

1人当たりの件数	1	2	3	4	7	15	37	無記入
人数 (名)	13	4	1	3	1	1	1	3

(2) どのようなケースに使用しましたか

1. 新規に受け持ったケース（9名）
2. 継続して受け持っているケース（13名）

(3) どのように活用できましたか（複数回答可）

1. 介護者の状況をきくことができた（19名）
2. 介護者にも支援することを伝えることができた（10名）
3. 介護者支援に取り組むきっかけになった（6名）
4. 介護者の気持ちをきくことができた（19名）
5. その他（1名）

問1. で「ない」と回答した56名において

アセスメント票を利用していない理由（n=54）

- ・忘れていた（15名）
- ・対象者がいない（9名）
- ・アセスメント票がよくわからない（9名）
- ・介護者の状況を把握しているので必要ない（7名）
- ・時間がかかる（5名）
- ・使いづらい（5名）
- ・別のアセスメントツールを使用している（4名）
- ・その他

問2. 介護者を支援するために、介護者に対してどのような事業があれば良いと思いますか。（n=44）

- ・介護者が話せる場があればいい（10名）
- ・種々のレスパイト（7名）
- ・情報提供（6名）
- ・ケアマネのスキルアップ（5名）
- ・相談窓口（4名）
- ・通院・買い物支援（4名）
- ・経済的支援（2名）
- ・その他

介護支援専門員スキルアップ研修会実施要項

1 目的

高齢化の進展により介護を必要とする人は増加傾向であり、家族の規模が小規模化の方向に向かう中では、一人あたりの介護者にかかる負担はいつそう増大することが見込まれる。介護が必要となっても家族介護者、要介護者がともに自分らしい人生や安心した生活を送ることができるよう市内の介護支援専門員等を対象に介護者支援をテーマとした研修会を開催する。

2 対象者 居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護事業所
地域包括支援センター 職員

3 日時 令和3年3月26日(金) 13:30～15:00

4 会場 射水市役所 302・303・304会議室

5 講師 NPO法人てとりん 代表理事 岩月 万季代 氏

6 内容 講 義 13:30～14:45
「日常のケアマネジメントにおける介護者アセスメントの必要性
～介護者の人生そのものを支援するために～」

説 明 14:45～15:00
「介護者アセスメント票の活用方法」

7 その他 講師はオンライン形式で講義を実施し、研修会場にて配信する。

＜講師紹介＞ NPO法人てとりん 代表理事 岩月万季代氏

愛知県春日井市在住。重度の糖尿病を患う母親を介護していたH22に「家族介護者のつどい」を開始。

長年看護師として多くの患者家族と接し、「介護を担う家族も支援されるべき存在」との思いから拠点としてカフェを開設。

全国介護者支援団体連合会幹事団体。連合会で岩月代表理事が中心になってまとめた「家族介護者のアセスメント」を用いて、ケアマネジャーを始め専門職に家族介護者について理解を深めてもらう活動を展開されている。

H22 「けあらーずサークル・てとりん」設立
家族介護者のつどいを開始

H24 NPO法人てとりん設立

H26 家族介護者支援センターてとりんハウス（カフェ）開設

H29 デイサービスてとりん村開所
ケアラー&コミュニティ農園開園

情報共有ワーキング部会

1 射水市多職種連携支援システムの運用状況 (令和3年2月1日現在)

登録施設数・ID発行数

	区分	施設数	ID発行数
1	医療機関（医科）	14	60
2	医療機関（歯科）	5	7
3	薬局	20	43
4	居宅介護支援事業所	24	64
5	地域包括支援センター	5	24
6	介護保険サービス事業所	50	155
7	その他（行政書士事務所・障がい者相談支援事業所・マッサージ事業所）	3	5
	計	121	358

情報共有開始者 50 名（看取り 22 認知症 7 難病 3 等）

2 多職種連携研修会（別紙 1）

テーマ『ICT を活用した多職種連携と ACP』You Tube による動画配信での研修会

(1) 内容

(2) アンケート結果

3 射水市情報共有ツール活用ガイドへの射水市多職種連携支援システムの掲載

射水市版情報共有ツール活用ガイド（平成 30 年 3 月発行）に、射水市多職種連携支援システム（ICT ツール）について追加（別紙 2）

令和 3 年 4 月に関係機関（病院・診療所、歯科医院、薬局、地域包括支援センター、介護保険事業所）へ配布予定

4 今後の取組みの方向性

(1) 射水市多職種連携支援システムの普及・活用の推進

射水市多職種連携支援システムの活用状況に差があるため、未登録機関への個別の説明、活用事例の紹介を行う。

(2) ACP の普及

ACP に関する知識・経験に差があるため、具体的な事例を通しての学びの機会を設ける。また、高岡医療圏 ACP 記録ツール「人生会議の記録」（参考）の普及を図る。

令和2年度 多職種連携研修会

テーマ

参加無料
事前申込制

『ICTを活用した多職種連携とACP』

YouTube による動画配信での研修です。

PC・タブレット・スマートフォンの各デバイスから参加できます。

- ・配信期間 令和 2 年 12 月 25 日(金) 正午 12:00 から
令和 3 年 1 月 8 日(金) 正午 12:00 まで
- ・申込締切 令和 2 年 12 月 15 日(火)

【参加申込方法】 メール本文に①~④の項目を記載し、下記のアドレスへお送りください。

E-mail : za-imizu@imizu.weblike.jp

○メールタイトル「多職種連携研修会申込」

- 本 文 ①所 属 (病院名、薬局名、事業所名等)
- ②参加代表者氏名
- ③参加者氏名 (複数名も可)
- ④電話番号、FAX 番号

届いたメールアドレスに、動画へのアクセス方法と資料等を返信いたします。
必ず受信可能なメールアドレスから送信してください。

プログラム	出演者	時間
①・射水市多職種連携支援システムの運用状況について	射水市役所地域福祉課:安元主任	約 15分
・事例紹介 「Aさんの看取りを通して」	のざわクリニック:野澤医師 大門在宅介護支援センター:山崎ケアマネジャー だいもん訪問看護ステーション:笹尾看護師、横堀看護師 射水ライフ・サポート訪問入浴:門野看護師 とやま調剤薬局 大門店:大垣薬剤師	
② ICTを使ってみたケアマネジャーの声	射水市居宅介護支援事業者連絡協議会 高桑ケアマネジャー、森ケアマネジャー、 橋本ケアマネジャー、澤橋ケアマネジャー	約 8分
③ ICTを活用した多職種連携の重要性・ACPについて考える	のざわクリニック:野澤医師	約 10分

令和2年度 多職種連携研修会アンケート結果

テーマ「ICTを活用した多職種連携とACP」

You Tubeによる動画配信での研修会

配信期間：令和2年12月25日（金）～令和3年1月8日（金）

研修会申込：62箇所 184名 アンケート回収数：95枚

①職種（複数回答）

医師4名、歯科医師2名、薬剤師5名、看護師14名、保健師3名、理学療法士1名、作業療法士1名、ケアマネジャー51名、社会福祉士12名、ソーシャルワーカー3名、その他5名 計101名

②動画を視聴し『ICTを活用した多職種連携とACP』について、理解は深まりましたか。

非常に深まった 49

深まった 39

深まらなかった 0

未記入（不参加事業所含む） 7 計95

コメント（自由記載）

- ・ICTに関する素朴な疑問からACPとの関連、またICTを実際に利用した事例を通して分かりやすく動画で説明してあり、利用してみようと思える内容だった。…20
- ・ICTを活用して連携するメリットがよく分かった。多職種が綿密に連携する手段として活用したい。…8
- ・ICTの活用はリアルタイムに情報共有でき、看取りにおいて有益である。ACPは重要なテーマであり、多職種の理解、地域の理解を進めていく必要性を感じた。…7
- ・システム利用者の実際の声が聞けて分かりやすかった。イラストやシステムの画面、寸劇もあり分かりやすく工夫されていた。…5
- ・手作り感があり良かった。楽しめた。…5
- ・実際にシステムを利用している。電話やFAXより連携しやすい。今後も活用していきたい。…4
- ・普段見られない多職種間の連携が目に見えて良かった。様々な角度から見る事ができた。…3
- ・野澤先生の講義が大変分かりやすかった。配布資料もあり良かった。コメントが丁寧だった。…3
- ・ICTの活用はハード面の整備が必要な現状である。…2
- ・ICTは病状の重い看取りの方だけでなく、脳梗塞・認知症といった方にも活用できると分かった。
- ・仕事として視聴しているため、寸劇等は行わず要点を的確に伝えて欲しい。
- ・多職種がそれぞれにどの様な情報を求めているかコメントがあると良かった。

③コンテンツ1本の時間は15分前後で作成しました。

ちょうど良かった 83

短かった 1

長かった 4

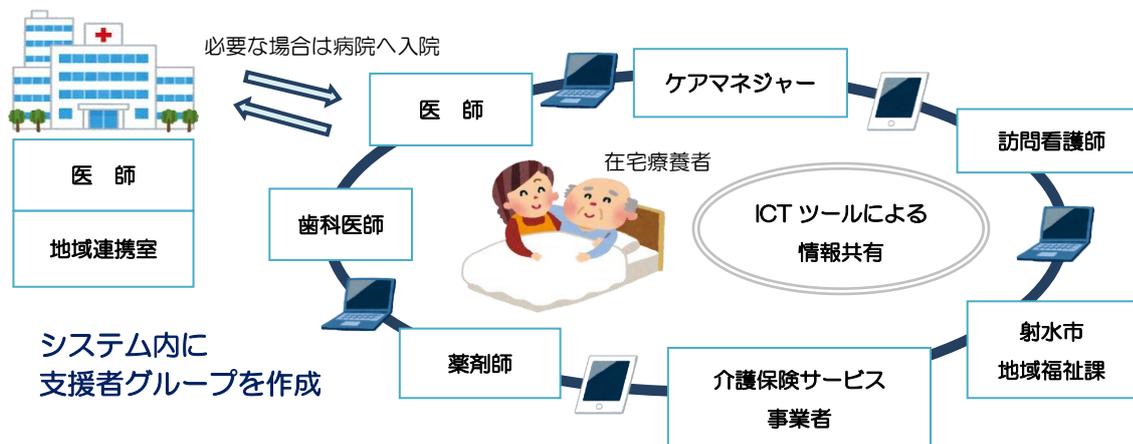
未記入（不参加事業所含む） 7 計95

コメント（自由記載）

- ・要点を絞って簡潔にまとめてあり、長さも速度もちょうど良かった。…26
- ・1つ目の動画が思ったより長かった。
- ・全員が視聴できればよかったが難しかったため、資料を回覧し理解を深めた。

多職種連携支援システム（射水市版）

在宅療養者を支援する医療機関及び介護保険サービス事業所等が、体調、受診結果及びサービス利用時の状況、本人や家族の思い等を共有するためのICT（情報通信技術）ツールです。本人の身体状況や支援内容等をタイムリーに共有することで、多職種が緊密に連携して本人や家族への支援を行うことができます。



【対象者】 射水市に居住する在宅療養者

多職種が関わり支援を行っているケース、身体状況の変化が著しく、連絡調整が頻回必要なケース、外来通院していたが訪問診療に切り替わるケースなど、システムの利用が望ましい方へ同意をとって利用します。

【情報共有の範囲】

対象者となる在宅療養者に対して、システム内に支援者グループを作成し、支援者グループ内でのみ情報を共有する。

【システム名】 TRITRUS（トリトラス）株式会社カナミックネットワーク

【利用料金】 無料

毎月のシステム運用費は射水市が負担します。インターネット環境にかかる費用はご負担ください。

【システム管理者（実施主体）】 射水市（地域福祉課が事務を取り扱います。）

システムの利用方法

※専用ソフトのダウンロードは必要ありませんが、初回に電子証明書をインストールしてください。

- ①インターネット環境のあるパソコンやモバイル端末から「カナミックネットワーク」を検索し、ホームページ画面からシステムにアクセスします。
- ②ユーザーID、パスワードを入力し、システムの利用を開始します。

セキュリティについて

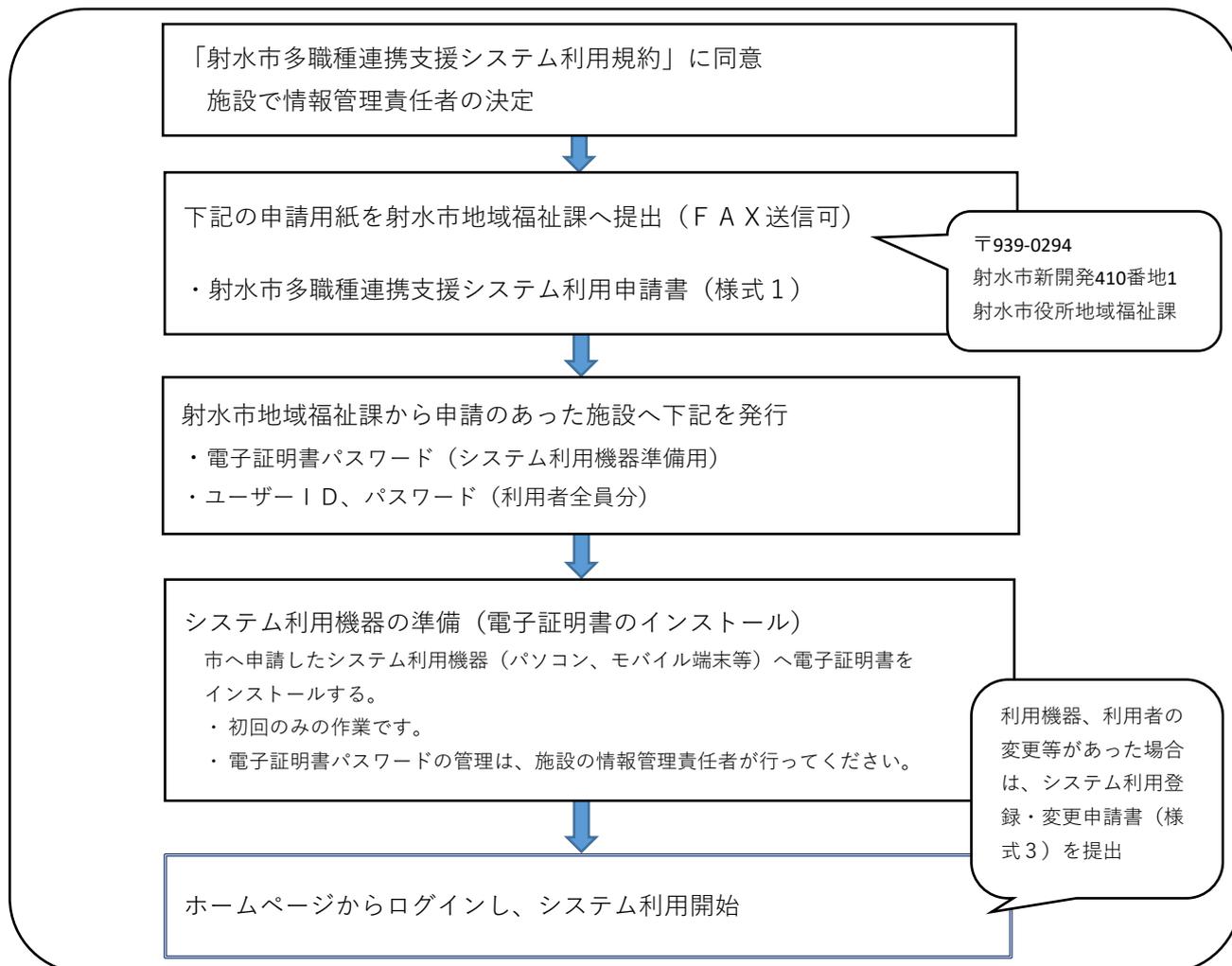
- 厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」総務省「ASP・SaaSにおける情報セキュリティ対策ガイドライン」等に準拠したシステムです。
- システムを利用するパソコンやモバイル端末にはデータを保存せず、データセンターでクラウド管理します。

- システムを利用するには、申請が必要です。
申請書等の様式は、射水市ホームページ [いみず医療・介護情報](#) よりダウンロードできます。

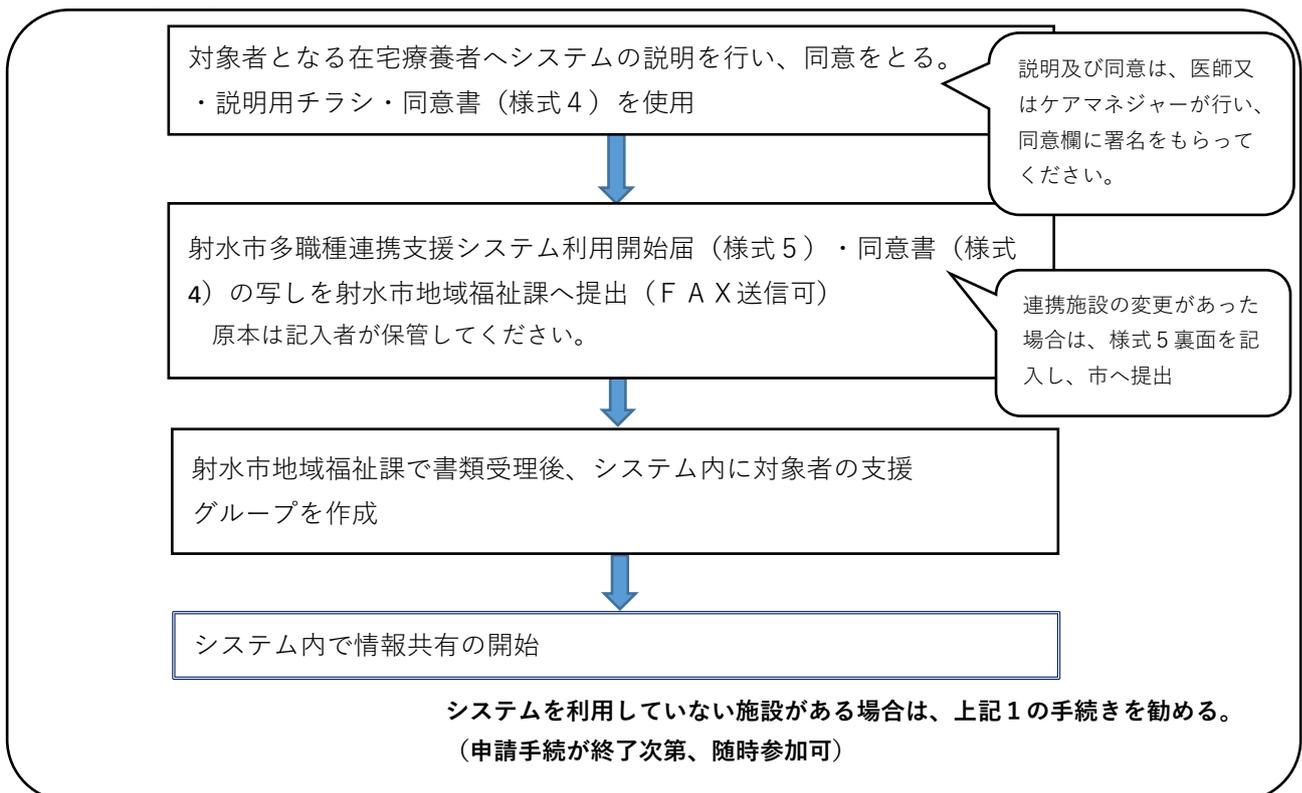
<http://www.city.imizu.toyama.jp/guide/svGuideDtl.aspx?servno=27896>

射水市多職種連携支援システム利用の流れ

1 システムを利用するための施設登録



2 在宅療養者の情報共有



システムで情報共有した事例の紹介

射水さん（82歳、男性） - 医師・ケアマネジャー・訪問看護・訪問入浴・訪問リハビリ・薬剤師で情報共有

妻（78歳）と二人暮らし
射水さんはベッド上の生活で絶飲食中。輸液点滴がかかせない状況



システムの画面イメージ（実際のシステムでは新しい投稿が一番上に表示されます）

【2/5訪問状況】					重要度	☆☆☆
投稿No1：〇〇訪問看護ステーション 看護師 △△			実施日時 2020/2/5 15:00			
経口摂取の希望強く、再度絶飲食の説明をしました。訪問時に吸痰実施（昨日20時以降は吸引せず）に経過）週3回の訪問に加えて緊急時に対応します。						
【物品について】						
次回訪問時にルート交換すると残数0です。緊急対応も考えられるため補充をお願いします。						
血圧	脈拍	呼吸	体温	SpO2		
90/50	70	18	36.1	93		
訪問状況へのコメント						
□□医院 医師 △△			実施日時 2020/2/5 20:30			
物品は本日準備しますので、明日以降取りに来てください。緊急時の対応もよろしくお願いします。						
【2/7訪問入浴】					重要度	☆☆☆
投稿No2：□訪問入浴 看護師 ○○			実施日時 2020/2/7 13:30			
表情良。入浴時はお変わりなく、呼吸苦もありませんでした。						
血圧	脈拍	呼吸	体温	SpO2		
94/49	76		36.2	93		
【2/8緊急訪問】					重要度	★★★
投稿No3：〇〇訪問看護ステーション 看護師 △△			実施日時 2020/2/8 21:00			
呼吸苦があり、緊急訪問（SpO2 70%）						
奥から多量の痰を吸引し、1時間後にSpO2 91%まで回復。呼吸苦改善し、眠っていかれました。						
血圧	脈拍	呼吸	体温	SpO2		
101/72	85	24	36.6	91		
【飲水指示】					重要度	★★★
投稿No4：□□医院 医師 △△			実施日時 2020/2/17 13:30			
体調が落ち着いてきましたので、本人とご家族の意向を確認し、少しずつ飲水開始の指示をしました。						
血圧	脈拍	呼吸	体温	SpO2		
96/63	91		36.6	90		
飲水指示へのコメント						
〇〇訪問看護ステーション 看護師△△			実施日時 2020/2/18 13:30			
表情も良くバイタル安定しています。訪問時〇〇を摂取。ムセもありませんでした。						
コメント						
△△訪問リハビリ 作業療法士□□			実施日時 2020/2/18 16:30			
次週の訪問時に完全側臥位での嚥下訓練を行います。						

医療物品の在庫を確認、報告することで医師・薬剤師と連携を図ります。

バイタルは定型フォームから入力します。経過をグラフでみることもできます。

相手の時間を気にせず、連絡できます。



訪問看護

本人やご家族の日々の様子を共有できます。サービス利用時に心配に思ったことを書き込めば他職種の対応時に継続支援をお願いできます。

ちょっとしたことの連絡も取りやすいです。



サービス事業所

状態の変化があった時などシステムで支援方針を伝えます。文字に残すことで確実性があります。（振り返って確認することもできます。）

診療の合間にシステムで状況確認ができます。



医師

サービスの利用状況を把握できるので必要に応じてケアプランを見直します。医療の情報もタイムリーに把握できます。

システム内でケース会議ができたり、TELや来所などの1人1人への連絡時間を短縮できます。



ケアマネジャー

* 支援した全ての記録を残すものではありません。多職種と共有が必要な情報をピックアップして投稿します。

* 在宅療養では口腔ケアも重要です。医科歯科連携にもご利用ください。

* 老々介護や独居、認知症の方も増える中、支援者が見守りをしながらその人らしい生活を支援することが増えています。本人や家族の「ちょっと困ったな」に早めに気づき、チームで支援を検討するためにもシステムの活用をご検討ください。

人生会議の記録

本人氏名 :
日 時 : 年 月 日 ()
場 所 :
参加者 : 本人・家族 ()
医 師 ()
訪問看護師 ()
ケアマネ ()
そ の 他 ()

病状説明

本人の思い

家族の思い

医療・ケアについての希望

今後の方針

普及啓発ワーキング部会

令和2年度在宅医療と介護を考える市民講座

～この街で この家で ずっとあなたといたいから～ 実施報告

1 ケーブルテレビを活用した普及啓発について

放送日 令和2年11月30日（月）～12月13日（日） 2週間

時間 1日2回 30分番組

1回目 10:30～11:00

2回目 15:30～16:00

内容

○あいさつ 島多会長

○第1部 寸劇（15分間）

コロナに負けるな！「感染防止のための3つの基本」

1 身体的距離の確保 2 マスクの着用 3 正しい手洗い

出演者：松浦施設長、林氏（大門・大島包括）、毛利氏（富山福祉短大）

城石（地域福祉課）

高岡厚生センター射水支所監修で作成

○第2部 インタビュー（9分間）

専門職に聞いてみた！「このうちで暮らし続けるために」

出演者：松浦施設長、嶋先生（歯科医師）、撰津先生（薬剤師）林氏（大門・大島包括）

城石（地域福祉課）

○おわりに 矢野先生

○地域福祉課からのお知らせ（5分間）

射水市終活支援ノート「思いを伝えるノート」について

いみずお茶の間介護予防講座について

みまもりあい事業について

全体を通して益塚（地域福祉課）手話通訳あり

2 射水市ホームページでの配信について

ケーブルテレビで放送した市民講座を動画（YouTube）配信

令和3年2月11日現在 326回視聴

令和2年度 ワーキング部会実施状況について

・在宅支援ワーキング部会

月日	会場	出席者数	検討内容
R2年8月25日(火) 19:00~21:00	射水市役所 401会議室	7名	<ul style="list-style-type: none"> 在宅療養者の食支援の現状把握と課題の抽出 介護者支援について
R2年11月25日(水) 19:00~21:00	射水市役所 305会議室	6名	<ul style="list-style-type: none"> 在宅療養者食支援の課題整理と今後の取組みについて 介護者支援アセスメント票利用に関するアンケート実施について
R3年1月26日(火) 19:00~20:30	射水市役所 201会議室	7名	<ul style="list-style-type: none"> 食に関する相談支援窓口について 栄養、食事指導モデル事業について 介護者支援に関するアンケート結果について 介護者支援研修会について

・情報共有ワーキング部会

月日	会場	出席者数	検討内容
R2年8月27日(木) 19:00~20:30	射水市役所 304会議室	7名	<ul style="list-style-type: none"> 射水市多職種連携支援システムの運用状況と課題 多職種連携研修会の内容
R2年10月14日(水) 19:00~20:40	射水市役所 305会議室	7名	<ul style="list-style-type: none"> ACPについての勉強会 講義「ACPについて考える～医療・ケアを提供する立場から～」野澤委員 真生会富山病院でのACPの取組紹介 阿部委員 ACPの取組みと課題 終活講座アンケート結果
R3年2月2日(火) 19:15~20:40	射水市役所 201会議室	7名	<ul style="list-style-type: none"> 多職種連携研修会アンケート結果 情報共有ツール活用ガイドのICT掲載内容 今後の取組みの方向性

・普及啓発ワーキング部会

月日	会場	出席者数	検討内容
R2年8月18日(火) 19:00~20:00	射水市役所 303会議室	7名	「在宅医療と介護を考える市民公開講座」に代わる普及啓発の方法と内容
R2年9月29日(火) 19:00~20:30	射水市役所 302会議室	7名	